

【タイトル】 扉開放範囲の危険見える化

改善後

注意喚起ポスター掲示



扉の開く範囲(方向)を床面に塗装



残存リスク揭示

説明: 危険リスクレベルを低減するために、廊下通行者向けの危険見える化として廊下の壁に 注意喚起ポスター掲示した。 の対策だけでは印象が薄いため、 扉の開く範囲(方向)を蛍光塗料にて床面に塗装した。【インパクトがあり、誰もが通行時の危険箇所としての認識ができ視認性向上に繋がっている。】
更に、退室者向けの危険見える化として扉の内側に 残存リスクとして注意喚起のポスターを掲示した。

改善前



説明: 施設内の扉の大半が通路側(廊下)に開く構造となっているうえに窓もないため、扉向こうの人の有無が確認できず通行者と接触するなどのヒヤリハットが多発していた。